

# 外国地誌 I

科目ナンバリング GGR-205

選択 2単位

吉村 久夫

## 1. 授業の概要(ねらい)

世界の国々では、その国を取り巻く自然環境や歴史的経緯の上に、それぞれの国の文化、生活、伝統、産業が成り立っている。したがってその時間軸と地域軸からなぜその国が、そこに、その規模で存在しているのかということを理解し、その「地勢、歴史」と「食や芸術などの文化、日々の生活、伝統芸能・工芸、主要産業」などの関係性を学ぶことは、単にその国の表面的な現在の姿だけでなく、それぞれの国と地域と世界との関係をより深く、かつ立体的に理解することになる。

文化遺産と自然遺産からなる世界遺産もまさしく歴史、文化、自然にもとづき選ばれている。

本講座では世界の主要な国の地勢、気候、歴史とそこから生まれる文化、生活、産業の関係を学び、またその国、地域の世界遺産が何に基づいているかを理解することで、観光はもちろんのこと、それにとどまらない世界のできごとを理解できる力を養う。

## 2. 授業の到達目標

①世界の主要な国の地勢、気候、歴史と文化、生活、産業等の関係を総合的に理解し、説明できる。

②①で学んだ知識をもとに世界遺産を中心とした観光に関する文化的、自然的な事柄を、本質的に理解し、説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

期末試験(70%)および学期内レポート(30%)で評価する。レポートの提出期限(原則翌週の授業まで)を守れない、あるいは不提出の場合は減点とする。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

なし。適宜資料、データを提供する。

参考文献

辰巳勝・辰巳真知子著 図説 世界の地誌 古今書院

新・世界の国々1巻～10巻 帝国書院

## 5. 準備学修の内容

日頃の準備:授業で学んだ国に関するメディアでの報道を、自然、歴史、文化などに関連付けて理解する。

予習:毎回の授業の最後に次回の授業の概要を説明するので、その関連のデータ、情報を確認しておく。

復習:毎回の授業で学んだことの要点を3点以上上げる。次の授業において前回授業の要点を説明するので、自分のポイントと比較して確認する。

## 6. その他履修上の注意事項

外国地誌 I (国、地域単位)と外国地誌 II (都市、地区単位)は相互に関連しているので、両科目の受講を望む。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 授業紹介(内容、スケジュール)、地誌とは何か、世界の気候、宗教、言語、(世界遺産、国立公園)
- 【第2回】 東アジア(中国、香港、マカオ)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第3回】 東アジア(韓国、台湾、モンゴル)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について(オンライン)
- 【第4回】 東南アジア(シンガポール、マレーシア、フィリピン)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第5回】 東南アジア(タイ、ベトナム、インドネシア)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第6回】 南アジア(インド、パキスタン、スリランカ)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第7回】 西アジア(イラン、サウジアラビア、トルコ)、アフリカ(アルジェリア、南アフリカ)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第8回】 西ヨーロッパ(イギリス、フランス、ドイツ)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第9回】 南ヨーロッパ(イタリア、スペイン、ポルトガル)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第10回】 北ヨーロッパ(スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、フィンランド)、アルプス諸国(スイス)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第11回】 東ヨーロッパ(ポーランド、チェコ、ハンガリー)、ロシアの自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第12回】 北アメリカ(アメリカ合衆国、カナダ)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第13回】 中南アメリカ(メキシコ、ブラジル、アルゼンチン)の自然、歴史、産業、文化、世界遺産について
- 【第14回】 オセアニア(オーストラリア、ニュージーランド)、南太平洋の自然、歴史、文化、世界遺産について
- 【第15回】 まとめとテスト